

令和3年度

事業報告書

財務諸表

(貸借対照表)

(正味財産増減計算書)

(正味財産増減計算書内訳表)

(財務諸表に対する注記)

附属明細書

財産目録

公益社団法人足立区シルバー人材センター

目 次

事業報告書	1
貸借対照表	8
正味財産増減計算書	9
正味財産増減計算書内訳表	11
財務諸表に対する注記	13
附属明細書	15
財産目録	16

令和3年度事業報告

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

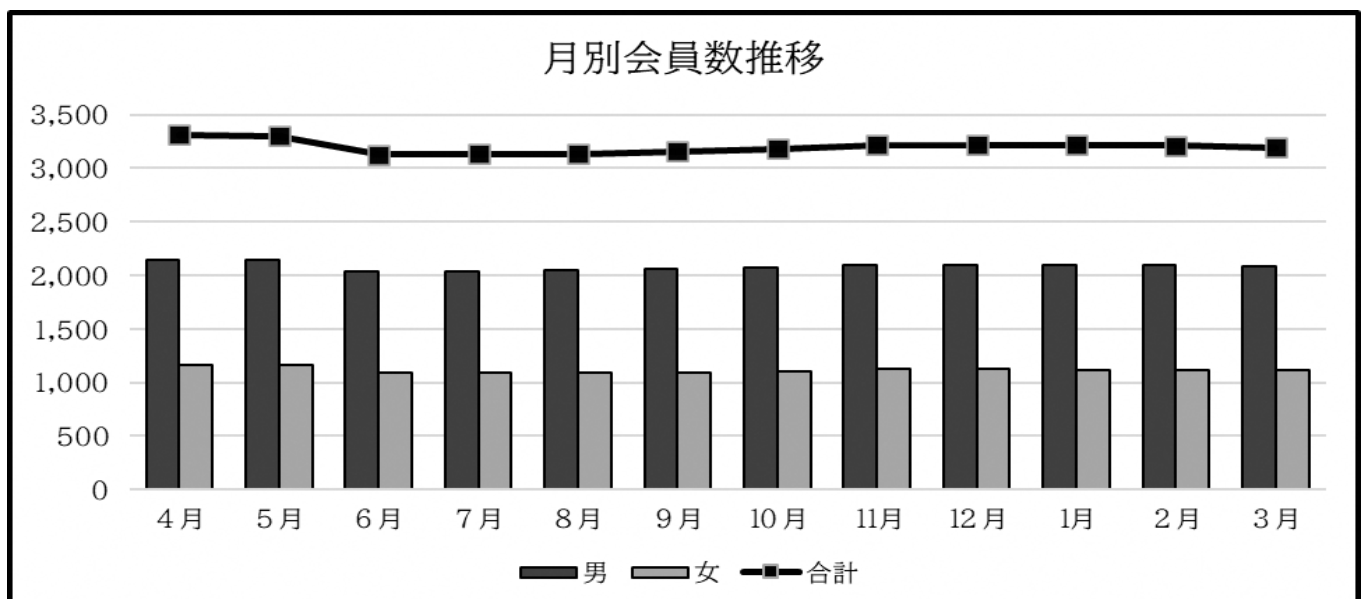
I 会員の状況

令和3年度末の会員数は3,195人で、ほぼ前年度を維持しています。女性比が微増で中でも11月末の女性会員数が前年度(1,097人)から2.4%増加したことにより、国からの4年度連合交付金が10万円加算されました。

(単位：人)

月別	入会			退会			退会理由					月末会員数		
	男	女	計	男	女	計	病気	就職	死亡	転居	他	男	女	計
4月	76	68	144	21	16	37	17	2	1	3	14	2,149	1,161	3,310
5月	26	11	37	32	12	44	10	3	4	1	26	2,143	1,160	3,303
6月	23	15	38	127	85	212	96	16	7	1	92	2,039	1,090	3,129
7月	13	9	22	13	5	18	5	3	0	1	9	2,039	1,094	3,133
8月	17	5	22	13	11	24	10	2	2	1	9	2,043	1,088	3,131
9月	24	13	37	9	4	13	6	0	3	1	3	2,058	1,097	3,155
10月	22	18	40	8	6	14	5	1	0	3	5	2,072	1,109	3,181
11月	26	19	45	6	4	10	4	0	3	0	3	2,092	1,124	3,216
12月	12	7	19	9	8	17	8	2	3	0	4	2,095	1,123	3,218
1月	18	11	29	14	14	28	12	2	4	1	9	2,099	1,120	3,219
2月	3	4	7	11	6	17	6	0	3	1	7	2,091	1,118	3,209
3月	0	0	0	7	7	14	9	0	3	1	1	2,084	1,111	3,195
合計	260	180	440	270	178	448	188	31	33	14	182	2,084	1,111	3,195

(参考)2年度末会員数 3,203人 年間就業実人員 2,627人 会員年間就業率 82.2%



Ⅱ 事業実施状況

1. 普及啓発、情報収集及び提供等

区 分	内 容	回 数
センター広報紙の発行 (いちょうびあ)	会員及び関係各方面に配布。またセンターの活動や情報等の提供のためホームページに掲載。新年号に名誉会長である足立区長が正副会長と活躍する女性会員と共に意見交換をする記事をカラー掲載。	12 回
公社ニュースの活用 (トキメキ)	「シルバーからきらめくプラチナステージへ」会員の魅力的な写真や一步踏み出したくなる記事、広告等を掲載。	17 回
センター事業案内 チラシの配布	新規会員の募集や受注拡大等のために、新聞折込にて区内全域にパンフレットを配布。(98,700 部)	1 回
上部組織事業の参加	全国シルバー人材センター事業協会主催「シルボンヌ全国大会 IN TOKYO 2021」に参加し、女性活躍の PR。東京しごと財団主催の技能講習「整理収納セミナー」を共催し、センターの周知・広報と入会を促進。	2 回
ホームページの充実	ホームページを更新し、事業案内、就業開拓等に活用。	随時

2. 調査研究

区 分	内 容	回 数
事業実績の分析	事業実施状況報告等の月次報告を実績数値に基づき就業状況を毎月の理事会や委員会で分析。	12 回
事業所等調査	今後の就業開拓につなげるために、区内発注者 100 社にシルバー人材センターの利用に関するアンケートを実施。	1 回

3. 就業相談

区 分	内 容	実施期日	実施場所	相談件数
常設相談	高齢者の入会・就業等に関する各種相談	毎日(土・日・祝日・年末年始を除く)	センター事務局 (西保木間複合施設)	602 件
出張相談	千住支所にて高齢者の入会・就業等に関する各種相談	月 1 回	千住支所	54 件

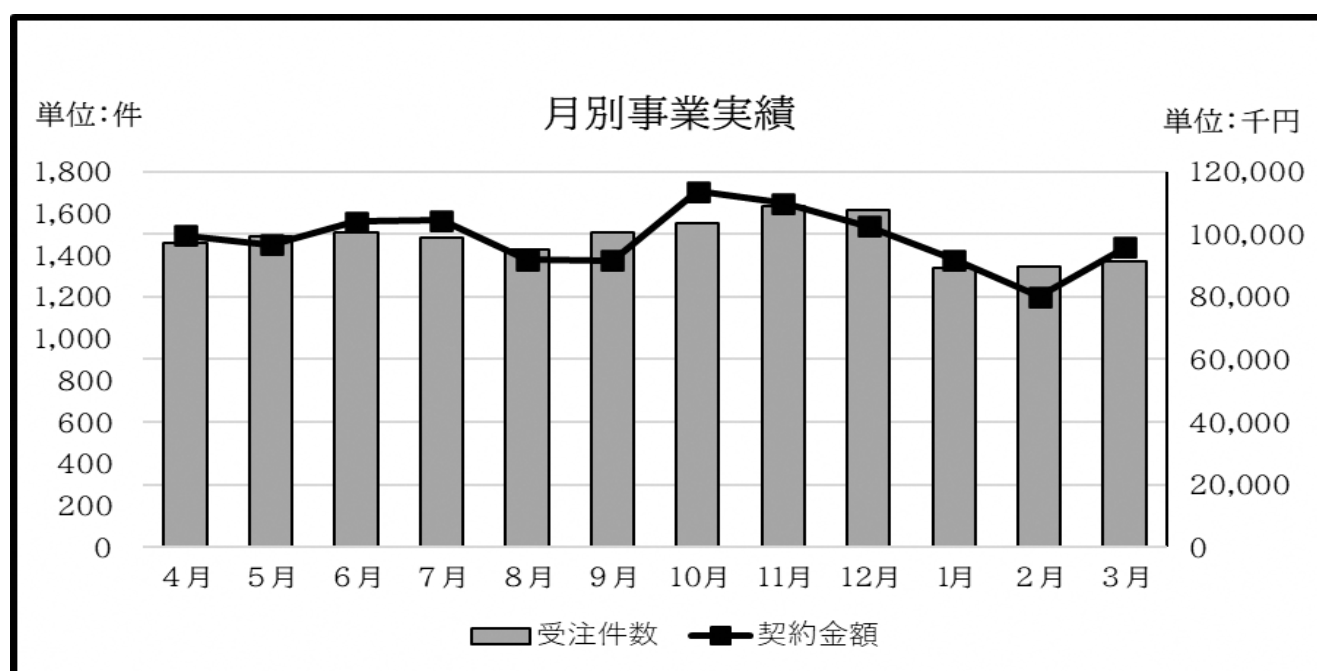
4. 就業機会の提供と開拓等

(1) 提 供

令和3年度の契約総額は11億8,090万円余で、前年度より約8,600万円減となりました。受注総件数は、前年度(17,916件)より若干減少(1.1%)して17,726件です。しかし、年度内に一度でも就業した会員実人数による就業率は、82.6%と前年を0.6ポイント上回り、2年連続で過去最高を達成しました。

ア. 月別事業実績

月別	受注 件数	就 業 人 員		契 約 金 額			
		延実人員	延日人員	配分金	材料費	事務費	合計
	件	人	人	円	円	円	円
4月	1,456	4,585	27,690	94,337,703	478,646	4,747,574	99,563,923
5月	1,485	4,737	26,927	91,577,348	374,031	4,697,934	96,649,313
6月	1,510	5,705	30,451	98,547,498	370,219	4,997,218	103,914,935
7月	1,483	5,587	29,118	98,768,715	448,899	5,040,084	104,257,698
8月	1,428	4,669	25,890	86,822,069	490,162	4,371,789	91,684,020
9月	1,508	4,892	26,679	86,347,566	425,254	4,833,897	91,606,717
10月	1,553	6,462	32,698	107,548,085	425,121	5,555,269	113,528,475
11月	1,633	5,219	29,717	103,926,315	461,772	5,381,894	109,769,981
12月	1,617	4,672	27,646	96,983,052	600,437	4,938,207	102,521,696
1月	1,339	4,917	27,206	86,717,846	350,021	4,592,063	91,659,930
2月	1,343	4,254	24,204	75,679,924	359,747	3,913,254	79,952,925
3月	1,371	4,494	27,470	89,963,540	383,847	5,452,009	95,799,396
合計	17,726	60,193	335,696	1,117,219,661	5,168,156	58,521,192	1,180,909,009



イ. 職群別事業実績

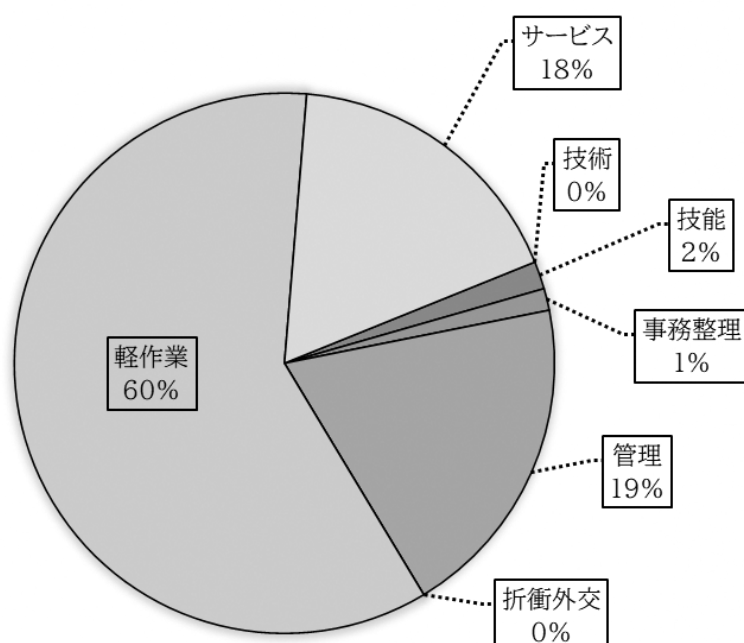
職 群	受託 件数	就 業 人 員		契 約 金 額			
		延実人員	延日人員	配 分 金	材料費	事務費	合 計
	件	人	人	円	円	円	円
技術	0	0	0	0	0	0	0
技能	1,081	2,036	2,193	17,053,674	534,084	2,014,910	19,602,668
事務整理	111	369	1,987	14,347,157	0	1,088,718	15,435,875
管理	1,239	7,349	51,828	219,535,490	964	10,966,250	230,502,704
折衝外交	0	0	0	0	0	0	0
軽作業	11,272	20,757	179,926	669,349,258	4,626,733	33,907,032	707,883,023
サービス	4,023	29,682	99,762	196,934,082	6,375	10,544,282	207,484,739
合計	17,726	60,193	335,696	1,117,219,661	5,168,156	58,521,192	1,180,909,009

例【技能：植木、事務整理：一般事務、管理：学校管理、軽作業：清掃、サービス：家事援助・広報配布】

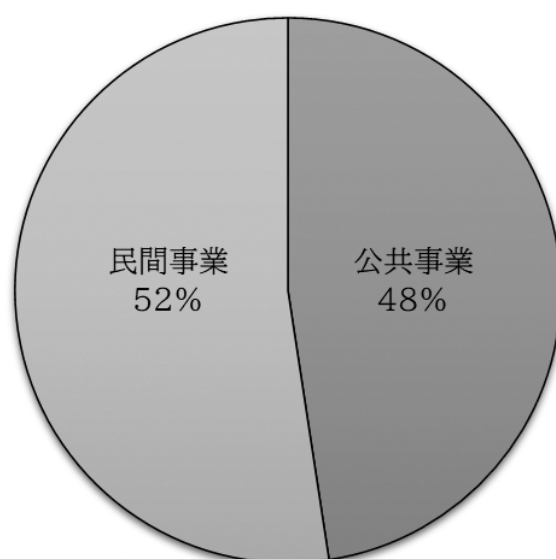
ウ. 公共・民間別事業実績比

区 分	受託件数	延実人員	延日人員	契 約 金 額
公共事業	1,617 件	26,722 人	137,985 人	562,028,612 円
民間事業	16,109 件	33,471 人	197,711 人	618,880,397 円
合 計	17,726 件	60,193 人	335,696 人	1,180,909,009 円
公共：民間	9：91	44：56	41：59	48：52

イ. 職群別事業実績



ウ. 公共・民間別事業実績比



(2) 開 拓 等

区 分	内 容	実施時期
就業開拓 会員増強	1 コロナ禍のため事業所等へのリーフレット投函による就業開拓に努めた。 2 作成したリーフレットを、区内住区センターに設置した。また、ハローワーク足立や足立区役所等関係各所に配布した。 3 区内バスの一部に広告を掲載し、センター事業のPRを行った。 4 竹ノ塚駅・北千住駅構内等に事業PR用ポスターや竹ノ塚駅周辺案内板広告を掲示した。	4月～ 3月

5. 研修・講習会等

「危機管理研修」は、参加者から令和の時代に相応しい具体例を用いた内容で、危機意識がより高まったとのアンケート結果が出ています。

区 分		研修内容（実施時期・回数）	参加人員
独 自 研 修	就業前研修	就業前に必要な知識等の取得研修	新規就業者 約 1,000 人
	理事・監事研修	東京しごと財団職員を講師に「シルバー人材センター等一般労働者派遣事業」についての研修を実施（12月）	9 人
	支所主催研修	【千住】支所委員・協力員研修、接遇研修（7・11月） 【西部】リーダー研修、認知症研修（11・3月） 【南部】協力員研修会（11月）	延 210 人
	危機管理研修	足立区危機管理部長を講師に「就業中に発生した事故の対応や緊急連絡」について学ぶ研修を実施（11月） 支所委員・仕事班リーダーを含む全会員対象	103 人
	職域別研修	家事援助グループ（14回）での技術向上等の研鑽。 エアコン班・網戸班については新型コロナウイルス感染拡大を鑑み中止	延 195 人
	新会員研修	センター理念、組織等修得及び接遇研修。三密を避けるため午前・午後、数日に小分けし少人数制にして実施	440 人
東京しごと財団主催研修等（動画視聴・オンライン研修含む）		「新任安全管理委員勉強会」・「安全リーダー研修」（7月）、「新任理事研修」・「インボイス制度」（9月）、「適正就業担当者会議」（10月）、「安全就業指導員会議」・「適正就業担当者会議」・「スマートフォン相談会」（2月）	延 51 人
ブロック研修		安全管理研究会（9月）・安全就業研修会（10月）・職員研修（11月）	18 人

6. 事業促進のための組織活動

(1) センター諸会議

区 分	開催月日又は回数
定 時 総 会	令和3年6月23日開催
理 事 会	毎月1回（5・6月は2回開催） 計14回開催
就業適正化委員会・就業開拓専門委員会合同会議	1回開催
就業適正化委員会・支所運営委員会合同会議	1回開催
就業開拓専門委員会	4回開催
会員増強専門委員会	1回開催
五所会議	2回開催
ハンドブック編集作業部会	6回開催

(2) 地域、職群班等の活動

区 分		活 動 内 容	開催月日等
支 所 組 織		5 支所 56 区域で実施。感染症対策を取りながら、支所役員会議・区域会議等を随時開催するとともに、連絡網を通じてセンター広報紙等の配布や就業案内、新規会員加入促進活動等を行った。	地区全体会 中止 区域等会議 231 回
職 群 班	植木班	植木班 3 グループで班会議を実施。担当理事及びリーダーを中心に安全就業、新人教育体制、見積り精度の向上について検討した。	班会議 3 回
	草取り班	担当理事、リーダーを中心にコロナ禍における安全就業対策や事故防止の確認、後継者育成及び作業班の拡充などの課題解決に向けた取り組みを検討した。	班会議 1 回
	家事援助サービス班	地区リーダー会議、実働リーダー会議は新型コロナウイルスの関係で中止になることがあったが、概ね毎月開催した。会議では苦情及び地区で発生した問題を提起し、再発防止を検討するとともに、新型コロナウイルス感染予防対策について話し合った。家事援助活動要綱の改定について検討をした。	地区リーダー 会議毎月 1 回
	公共事業班	広報配布グループ班では、拠点リーダーの負担減と配布員の増員について検討をした。また、今後の方針として、急な配布交代等の対応ができるよう支所との連携を図っていく。	担当理事会議 2 回 拠点リーダー会 議 1 回
ブロック連絡活動		第一地域連絡会議（墨田・江東・足立・葛飾・江戸川の 5 区で組織）の開催と運営に関する情報の交換及び職員合同研修の実施。	連絡会 2 回 合同研修 1 回
全国シルバー人材センター事業		シルボンヌ全国大会 IN TOKYO 参加（6 名）	1 月 19 日

7. 安全就業

区 分	内 容	開催月日等
安全管理委員会等	安全管理委員会及び安全支援員合同の安全管理拡大会議の開催	4 回
巡回安全指導	各地区の安全管理委員、安全支援員が中心となり屋外の作業現場を巡回し、近況の事故事例及び時候に合わせた注意喚起を行った。	301 回
安全意識の啓発	7 月の「就業安全強化月間」、2 月の「安全標語への応募」等、各安全関連の行事記事を広報「いちょうびあ」に掲載するとともに、傷害事故の二大原因である転倒・自転車事故に対する周知文書を全会員に配布した。	7 月・2 月
安全の心得	7 月の「就業安全強化月間」に合わせて安全の周知文と両面刷りで安全心得 10 カ条を全会員に配布し、新会員には研修時に同資料を配布し説明した。	随時
自転車安全点検	自転車の整備不良による事故を防ぐため、自転車の基本的な知識を有する会員らが点検を実施した。（一部中止あり）	各地区で 毎月 1 回実施 (北部のみ 2 回)
安全管理講座	足立区公認スポーツ指導員を講師として招き、転倒予防体操の実技指導を予定していたが、まん延防止等重点措置により中止となった。	中止
交通安全自転車講習会	竹の塚警察署交通課安全教育係の警察官が講師となり講習会を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大及びまん延防止等重点措置により中止となった。	中止
熱中症予防講座	講習会を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大により中止となった。	中止

※シルバー保険の対象となった事故 () は令和 2 年度
 傷害事故 24 件 (17 件) 内訳：就業中 15 件 (12 件)、就業途上等 9 件 (5 件)
 賠償事故 14 件 (7 件)

8. 社会奉仕活動

センター事業の目的の一つであるボランティア活動を再整備して、より多くの会員が参加しやすい体制になるよう充実を図りました。

区 分	活 動 内 容	実施時期等
ボランティア活動	街路・歩道等空き缶、ペットボトル等ゴミ拾い、公園・荒川河川敷・住区センター等外回り・包丁研ぎ等 合計 40 件	4 月～3 月

貸借対照表

令和4年3月31日現在

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	45,409	47,889	△ 2,480
普通預金	32,479,342	64,053,203	△ 31,573,861
当座預金	23,596	24,476	△ 880
未収金	122,817,559	123,433,526	△ 615,967
貸倒引当金	<u>△ 746,931</u>	<u>△ 749,829</u>	2,898
	122,070,628	122,683,697	△ 613,069
前払金	90,000	90,000	0
流動資産合計	154,708,975	186,899,265	△ 32,190,290
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付引当資産	29,989,621	26,170,271	3,819,350
減価償却引当資産	5,654,097	5,335,623	318,474
財政運営資金積立資産	98,555,000	98,555,000	0
特定資産合計	134,198,718	130,060,894	4,137,824
(2) その他固定資産			
建物	658,800	658,800	0
建物減価償却累計額	<u>△ 224,373</u>	<u>△ 180,234</u>	△ 44,139
	434,427	478,566	△ 44,139
什器備品	6,735,553	6,597,503	138,050
什器備品減価償却累計額	<u>△ 5,429,724</u>	<u>△ 5,155,389</u>	△ 274,335
	1,305,829	1,442,114	△ 136,285
リース資産	28,151,209	28,151,209	0
リース資産減価償却累計額	<u>△ 7,976,176</u>	<u>△ 2,345,934</u>	△ 5,630,242
	20,175,033	25,805,275	△ 5,630,242
電話加入権	925,761	925,761	0
出資金	10,000	10,000	0
保証金	273,500	273,500	0
その他固定資産合計	23,124,550	28,935,216	△ 5,810,666
固定資産合計	157,323,268	158,996,110	△ 1,672,842
資産合計	312,032,243	345,895,375	△ 33,863,132
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	98,103,411	125,365,145	△ 27,261,734
前受金	86,000	101,000	△ 15,000
預り金	786,552	1,098,663	△ 312,111
リース債務	5,549,361	5,418,675	130,686
流動負債合計	104,525,324	131,983,483	△ 27,458,159
2. 固定負債			
退職給付引当金	29,989,621	26,170,271	3,819,350
リース債務	14,963,229	20,512,590	△ 5,549,361
固定負債合計	44,952,850	46,682,861	△ 1,730,011
負債合計	149,478,174	178,666,344	△ 29,188,170
III 正味財産の部			
一般正味財産	162,554,069	167,229,031	△ 4,674,962
(うち特定資産への充当額)	(104,209,097)	(103,890,623)	(318,474)
正味財産合計	162,554,069	167,229,031	△ 4,674,962
負債及び正味財産合計	312,032,243	345,895,375	△ 33,863,132

正味財産増減計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受託事業収益	1,182,033,716	1,268,973,634	△ 86,939,918
受取配分金	1,117,219,661	1,199,048,532	△ 81,828,871
受取材料費等	5,168,156	5,846,397	△ 678,241
受取事務費	58,521,192	62,501,619	△ 3,980,427
施設管理受託収益	1,124,707	1,577,086	△ 452,379
受取会費	24,148,355	25,587,243	△ 1,438,888
正会員受取会費	3,317,000	3,286,000	31,000
配分金拠出金受取会費	20,831,355	22,301,243	△ 1,469,888
受取補助金等	134,049,156	127,491,995	6,557,161
受取区補助金	126,000,156	119,442,995	6,557,161
受取連合交付金	7,329,000	7,329,000	0
受取区コミュニティ施設活用補助金	720,000	720,000	0
雑収益	709,695	2,926,741	△ 2,217,046
受取利息	22	20	2
雑収益	709,673	2,926,721	△ 2,217,048
経常収益計	1,340,940,922	1,424,979,613	△ 84,038,691
(2) 経常費用			
事業費	1,314,068,782	1,392,770,710	△ 78,701,928
支払配分金	1,117,219,661	1,199,048,532	△ 81,828,871
支払材料費等	5,129,931	5,801,546	△ 671,615
職員基本給	49,725,975	49,713,090	12,885
職員特別手当	20,194,690	18,841,050	1,353,640
職員諸手当	16,825,976	15,760,001	1,065,975
法定福利費	14,115,150	13,984,862	130,288
福利厚生費	500,000	480,741	19,259
退職給付費用	7,248,993	6,919,003	329,990
減価償却費	4,796,607	4,855,754	△ 59,147
臨時雇賃金	6,662,657	5,208,353	1,454,304
旅費交通費	1,126,852	908,790	218,062
通信運搬費	3,928,810	3,764,292	164,518
会議費	15,965	24,477	△ 8,512
消耗什器備品費	88,000	0	88,000
消耗品費	4,905,124	4,840,210	64,914
印刷製本費	3,474,718	3,339,424	135,294
光熱水料費	1,647,564	1,558,950	88,614
賃借料	5,899,899	6,479,846	△ 579,947
燃料費	1,051,739	826,115	225,624
保険料	10,127,148	10,306,038	△ 178,890
手数料	68,299	160,830	△ 92,531
委託費	36,607,385	37,577,351	△ 969,966
諸謝金	1,486,447	1,069,425	417,022
租税公課	1,186,000	1,162,000	24,000
負担金	20,000	30,000	△ 10,000
雑費	15,192	110,030	△ 94,838

正味財産増減計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
管理費	31,550,000	31,027,858	522,142
職員基本給	10,467,600	10,460,166	7,434
職員特別手当	4,663,513	4,710,263	△ 46,750
職員諸手当	4,144,483	3,862,547	281,936
法定福利費	3,137,541	3,176,376	△ 38,835
福利厚生費	109,138	105,811	3,327
退職給付費用	1,705,187	1,652,916	52,271
減価償却費	1,152,109	1,158,318	△ 6,209
旅費交通費	798,818	710,692	88,126
通信運搬費	284,951	277,824	7,127
消耗品費	492,302	434,779	57,523
修繕費	0	28,160	△ 28,160
印刷製本費	412,005	404,910	7,095
光熱水料費	92,138	87,706	4,432
賃借料	598,015	621,612	△ 23,597
保険料	209,472	225,352	△ 15,880
手数料	93,894	51,597	42,297
委託費	2,413,479	2,532,088	△ 118,609
租税公課	5,650	4,600	1,050
負担金	210,100	210,100	0
支払利息	559,605	307,041	252,564
雑費	0	5,000	△ 5,000
経常費用計	1,345,618,782	1,423,798,568	△ 78,179,786
当期経常増減額	△ 4,677,860	1,181,045	△ 5,858,905
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
貸倒引当金戻入益	2,898	6,480	△ 3,582
経常外収益計	2,898	6,480	△ 3,582
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	2,898	6,480	△ 3,582
当期一般正味財産増減額	△ 4,674,962	1,187,525	△ 5,862,487
一般正味財産期首残高	167,229,031	166,041,506	1,187,525
一般正味財産期末残高	162,554,069	167,229,031	△ 4,674,962
Ⅱ 正味財産期末残高	162,554,069	167,229,031	△ 4,674,962

正味財産増減計算書内訳表

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：円)

科目	公益目的事業会計	法人会計	合計
	シルバー人材センター事業		
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受託事業収益	1, 173, 713, 577	8, 320, 139	1, 182, 033, 716
受取配分金	1, 117, 219, 661	0	1, 117, 219, 661
受取材料費等	5, 168, 156	0	5, 168, 156
受取事務費	50, 201, 053	8, 320, 139	58, 521, 192
施設管理受託収益	1, 124, 707	0	1, 124, 707
受取会費	22, 489, 855	1, 658, 500	24, 148, 355
正会員受取会費	1, 658, 500	1, 658, 500	3, 317, 000
配分金拠出金受取会費	20, 831, 355	0	20, 831, 355
受取補助金等	112, 478, 517	21, 570, 639	134, 049, 156
受取区補助金	104, 429, 517	21, 570, 639	126, 000, 156
受取連合交付金	7, 329, 000	0	7, 329, 000
受取区コミュニティ施設活用補助金	720, 000	0	720, 000
雑収益	708, 973	722	709, 695
受取利息	0	22	22
雑収益	708, 973	700	709, 673
経常収益計	1, 309, 390, 922	31, 550, 000	1, 340, 940, 922
(2) 経常費用			
事業費	1, 314, 068, 782	0	1, 314, 068, 782
支払配分金	1, 117, 219, 661	0	1, 117, 219, 661
支払材料費等	5, 129, 931	0	5, 129, 931
職員基本給	49, 725, 975	0	49, 725, 975
職員特別手当	20, 194, 690	0	20, 194, 690
職員諸手当	16, 825, 976	0	16, 825, 976
法定福利費	14, 115, 150	0	14, 115, 150
福利厚生費	500, 000	0	500, 000
退職給付費用	7, 248, 993	0	7, 248, 993
減価償却費	4, 796, 607	0	4, 796, 607
臨時雇賃金	6, 662, 657	0	6, 662, 657
旅費交通費	1, 126, 852	0	1, 126, 852
通信運搬費	3, 928, 810	0	3, 928, 810
会議費	15, 965	0	15, 965
消耗什器備品費	88, 000	0	88, 000
消耗品費	4, 905, 124	0	4, 905, 124
印刷製本費	3, 474, 718	0	3, 474, 718
光熱水料費	1, 647, 564	0	1, 647, 564
賃借料	5, 899, 899	0	5, 899, 899
燃料費	1, 051, 739	0	1, 051, 739
保険料	10, 127, 148	0	10, 127, 148
手数料	68, 299	0	68, 299
委託費	36, 607, 385	0	36, 607, 385
諸謝金	1, 486, 447	0	1, 486, 447
租税公課	1, 186, 000	0	1, 186, 000
負担金	20, 000	0	20, 000
雑費	15, 192	0	15, 192

正味財産増減計算書内訳表

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：円)

科目	公益目的事業会計	法人会計	合計
	シルバー人材センター事業		
管理費	0	31,550,000	31,550,000
職員基本給	0	10,467,600	10,467,600
職員特別手当	0	4,663,513	4,663,513
職員諸手当	0	4,144,483	4,144,483
法定福利費	0	3,137,541	3,137,541
福利厚生費	0	109,138	109,138
退職給付費用	0	1,705,187	1,705,187
減価償却費	0	1,152,109	1,152,109
旅費交通費	0	798,818	798,818
通信運搬費	0	284,951	284,951
消耗品費	0	492,302	492,302
印刷製本費	0	412,005	412,005
光熱水料費	0	92,138	92,138
賃借料	0	598,015	598,015
保険料	0	209,472	209,472
手数料	0	93,894	93,894
委託費	0	2,413,479	2,413,479
租税公課	0	5,650	5,650
負担金	0	210,100	210,100
支払利息	0	559,605	559,605
雑費	0	0	0
経常費用計	1,314,068,782	31,550,000	1,345,618,782
当期経常増減額	△ 4,677,860	0	△ 4,677,860
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
貸倒引当金戻入益	2,898	0	2,898
経常外収益計	2,898	0	2,898
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	2,898	0	2,898
当期一般正味財産増減額	△ 4,674,962	0	△ 4,674,962
一般正味財産期首残高	153,364,552	13,864,479	167,229,031
一般正味財産期末残高	148,689,590	13,864,479	162,554,069
Ⅱ 正味財産期末残高	148,689,590	13,864,479	162,554,069

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1)有価証券の評価基準及び評価方法

その他の有価証券

時価のないもの……個別法による原価法によっている。

(2)固定資産の減価償却の方法

建物、什器備品……定額法による減価償却を実施している。

リース資産……所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法により償却している。

(3)引当金の計上基準

貸倒引当金…期末債権残高に一定率を乗じて算出した金額を計上している。

退職給付引当金…職員の退職給付に備えるため、職員退職金支給規程に定める、当期末における要支給額に相当する金額から中小企業退職金共済給付予定額を控除した金額を計上している。

(4)消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 特定資産の増減及びその残高

特定資産の増減及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
退職給付引当資産	26,170,271	3,819,350	0	29,989,621
減価償却引当資産	5,335,623	318,474	0	5,654,097
財政運営資金積立資産	98,555,000	0	0	98,555,000
合計	130,060,894	4,137,824	0	134,198,718

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
退職給付引当資産	29,989,621	0	0	(29,989,621)
減価償却引当資産	5,654,097	0	(5,654,097)	—
財政運営資金積立資産	98,555,000	0	(98,555,000)	—
合計	134,198,718	0	(104,209,097)	(29,989,621)

4. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の 記載区分
補助金	(公財)					
連合交付金(国庫補助金)	東京しごと財団	0	7,329,000	7,329,000	0	—
区コミュニティ施設活用補助金	足立区	0	720,000	720,000	0	—
区補助金	足立区	0	126,000,156	126,000,156	0	—
合計		0	134,049,156	134,049,156	0	

5. リース取引関係

所有権移転外ファイナンス・リース取引

リース資産の内容

その他固定資産

本部事務局のコンピュータサーバー、パソコン、プリンター及びソフトウェアである。

6. 退職給付関係

(1) 採用している退職給付制度の概要

退職金支給規程にもとづく退職一時金制度を採用している。

(2) 退職給付債務及びその内訳

退職給付債務	29,989,621 円
退職給付引当金	29,989,621 円

(3) 退職給付費用に関する事項

①退職給付引当金繰入額	3,819,350 円
②中小企業退職金共済掛金	2,940,000 円
③企業年金基金掛金	2,194,830 円
④退職給付費用 (①+②+③)	8,954,180 円

(4) 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の算定にあたり、簡便法を採用しており、退職給付に係る期末自己都合要支給額から中小企業退職金共済給付額を除いた金額を退職給付引当金に計上している。

附属明細書

1. 特定資産の明細

財務諸表に対する注記 2 に記載しているため省略する。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
貸倒引当金	749,829	0	0	2,898	746,931
退職給付引当金	26,170,271	3,819,350	0	0	29,989,621

(注) 貸倒引当金の当期減少額（その他）2,898円は、貸倒引当金の戻入によるものである。

財 産 目 録

令和4年3月31日 現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金	手許現金	運転資金として	45,409
	普通預金	足立成和信用金庫竹の塚支店 (決済性預金:無利息型普通預金)	運転資金として	31,561,046
		城北信金西新井支店	配分金支払口座として	541,422
		足立成和信用金庫連合交付金 (決済性預金:無利息型普通預金)	運転資金として	200
		みずほ銀行千住支店	事業未収金回収口座として	4,120
		ゆうちょ銀行	事業未収金回収口座として	372,554
				32,479,342
	当座預金	足立成和信用金庫竹の塚支店	運転資金として	23,596
	未収金		事業未収金他として	122,817,559
	貸倒引当金 前払金		西部支所前払家賃等	△ 746,931 90,000
流動資産合計				154,708,975
(固定資産)				
特定資産	退職給付 引当資産	普通預金 足立成和信用金庫竹の塚支店	職員の退職金支払いの財源として 積み立てている。	29,989,621
	減価償却 引当資産	普通預金 足立成和信用金庫竹の塚支店	什器備品の耐用年数が経過した後に 購入するために積立てた資産である。	5,654,097
その他 固定資産	財政運営資金 積立資産	普通預金 足立成和信用金庫竹の塚支店	財政運営の変化に備えて積立てた 引当資産である。	98,555,000
	建物	西部支所内部造作	建物は公益目的保有財産として事業に 使用している。	434,427
	什器備品	金庫等固定資産として	什器備品の90.5%は公益目的保有財産 として事業に使用している。	1,181,776
			什器備品の9.5%は公益目的事業に必要 な法人管理業務に使用している。	124,053
				1,305,829
	リース資産	OA機器リース契約として	リース資産の80%は公益目的保有財産と して事業に使用している。	16,140,027
			リース資産の20%は公益目的事業に必要 な法人管理業務に使用している。	4,035,006
				20,175,033
	電話加入権	加入電話回線契約として	電話加入権の94.6%は公益目的保有財 産として事業に使用している。	875,770
			電話加入権の5.4%は公益目的事業に 必要な法人管理業務に使用している。	49,991
	出資金	足立成和信用金庫に対する 出資金として	管理運営に供している。	925,761
				10,000
	保証金	賃貸駐車場の敷金として	駐車場の賃貸借契約解除の際に払い 戻しとなるものである。	93,500
		西部支所事務所の敷金として	西部支所の賃貸借契約解除の際に払 い戻しとなるものである。	180,000
				273,500
固定資産合計				157,323,268
資産合計				312,032,243
(流動負債)				
	未払金	支払配分金等に対する未払額	会員に対する配分金の支払	98,103,411
	前受金		次年度受取会費として	86,000
	預り金	職員に対するもの	社会保険料等の預り金	786,552
	リース債務	事務局内	パソコン、プリンター等のリース契約	5,549,361
流動負債合計				104,525,324
(固定負債)				
	退職給付 引当金	職員に対するもの	職員に対する退職金の支払いに備えた 引当金である。	29,989,621
	リース債務	事務局内	パソコン、プリンター等のリース契約	14,963,229
固定負債合計				44,952,850
負債合計				149,478,174
正味財産				162,554,069